

2020 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2021年 3 月 23 日
研究・研修課題名	認定血液浄化検定試験受験
研究・研修組織名(所属)	日本臨床工学技士会
研究・研修責任者名(所属)	明穂 一広(MEセンター)
研究・研修実施者名(所属)	原 有彩(MEセンター)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果(試験結果未発表)
該当者名(所属)	原 有彩
学会名(会期・場所)、認定名等	日本臨床工学技士会、認定血液浄化臨床工学技士
演題名・認証交付元等	日本臨床工学技士会
取得日・認定期間等	試験合格していれば 2021 年 6 月認定予定(有効期限 5 年)
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**①目的**

現在透析患者は年々増加傾向にあり、2015 年の時点で 32 万 5 千人が透析療法を受けている。血液浄化療法も変化があり 2012 年には透析液を清浄化し補充液とする「オンライン HDF (血液透析濾過法)」が保険収載された。透析技術は年々進歩してきており、技術の進歩に伴い血液浄化療法を受けている患者に投与する薬剤も新しく商品化・発売されるようになってきている。このような技術の進歩に伴い、血液浄化を行う臨床工学技士も知識・技術の習得を行う必要がある。また、臨床工学技士のみならず血液浄化部にて勤務する医師・看護師も同じく技術・知識の向上を行わなければならない。今回、日本臨床工学技士会が主催する認定血液浄化臨床工学技士の講習会に参加し、最新の技術と知識を取得し、試験にて認定血液浄化臨床工学技士となり日常業務におけるスキルアップを目的とする。

②方法

2020 年 10 月に開催される認定血液浄化指定講習会を受講し、2021 年 2 月に行われる認定血液浄化検定試験を受験する。

③成果

得られた知識を臨床に応用し、より高い医療技術を透析患者に提供できるようになり、またスタッフ教育を行うことによりインシデントを低下させることも可能となったと考える。また、治療において適切な治療法の選択・透析実施中にケアを行うことにより透析患者の ADL の低下を予防し自宅退院を目指す事に繋がられるようになったと考える。試験結果は未発表であり認定資格が得られるかどうか未定あるが、将来、腎代替療法専門指導士という新しい資格が設置される方針が日本透析医学会で出されており、その資格取得に認定血液浄化臨床工学技士が必要になるとともに、腎代替療法専門指導士は透析時に指導料として加算していく方針もあるため、実現すれば診療報酬に関わることができる。